

三加和  
中学校  
学校たより

# みがきあう

3 限目  
5月12日(金)

## たかがあいさつ、されど...



朝から挨拶に対して人それぞれの反応があります。大きな声で先に挨拶をしてくれる人、こちらから挨拶をしたと返に

(不)人、声は出さないけれど会釈をして休る人、じ〜とこちらを見て何も言わず通りすぎる人、視線を合者せず、いそいそと通りすぎる人。この違いは何なんでしょうね？長いこと教員をやっていますか？いまだに分かります。こう言ってる私なんて、小学生の時は多動でうるさく、ビニルテープで体をイスに巻きつけられ、通知表には毎回「落ちつきがなく...」と書かれ親に怒られるほどせからしかたなのですが、人見知りがひどくて、挨拶ができず、気づかないふりをして通りすぎるというタイプでした。人柄や性格といったものは、幼少期や思春期の時につくられるので、中学生の今の時期に自分を変えないとなかなか変わらないそうです。事実、私は、「大人になったらちゃんとあいさつとかできるようになるし...」と思って変わろうとしなかったのが、未だに苦しんでいます。学校の先生という立場になれているにもかかわらず、「おはよう」と挨拶ひとつするのにも緊張し封し、人の目を見て話せません。社会人として失格ですね...でも、それが事実なんです。だからこそ、子どもたちには、今のうちに挨拶ができる人になってほしいと思っています。では、なぜ挨拶は大切なのか？それは、挨拶することが、相手を認め、心を開くことだからです。挨拶をしないう人というのは、無意識に心を閉ざしている人ですね。私がそうでした。だから、人から話しかけられにくいし、人にも話しかけにくいんです。だから自分が変わるために

自分が心を開いて挨拶をすることが大事なんです。それがよくできているなと思うのが2年生の鍋島くん。彼はどんな時でも、こっちがまたく気づいてなくても、遠くからでも大きな声であいさつをしてくる。ありがたいし、うれしいです。なにか、ちょっとしたホッとするような安心感をくれます。自分も中学の時に、彼みたいな行動ができていたらな...としみじみ思います。コミュニケーションが昔年を人、今の自分を変えたかな、と思ってる人は、まず挨拶からやってみよう。それも「相手の目を見て、自分から」。自分からしても、もしかしたら相手はしてくれないかも...と考えるとちょっと勇気がいりませんが、その勇気が大事なんです。その勇気が自分の自信となり、自分を変え、自分が変わると周りの見る目が変わり、周りの世界が変わってきます。少しずつでいい、自分が変わってきますよ。思春期の今しかチャンスはありませんよ!!

知水田  
教員の

## 米田先生からの投稿です!



先日朝、学校近くの横断歩道で車を止めたところ、男の子が礼をしながら渡っていきました。そしてその子は、渡り終えたとき、また私の顔を見て礼をしてくれました。昨日は、夕方学校近くの横断歩道で車を止めたところ、女の子が渡りました。この子も渡り終えて礼をしてくれました。2人の生徒と出逢って、その後の運転が心地よくできました。その心遣いがとてもうれしかったです。三加和中生は、きっとどの子も同じ行動をとるのだろうなと思いました。たった1、2秒の行動ですが、皆さんの一つ一つの行動は習慣となっているからできるのでしょうか。挨拶も勇気がいるかもしれませんが、三加和中生が笑顔で挨拶をすると町も明るくなります。TRY...期待しています。三加和中生の行動がうれしかったので...

そういえば、昨年も4月ごろ、たまたまこのあたりを通りかかった方が、お気づきのあたりの学校はどこかとネットで調べた内容と同じことを電話にくださった方がいました。みなさんの何気ない行動が、いばんなたちの気持ちをよくしているんですね。ありがとう!!

返信ありがとうございます。  
内容は何でもかまいません。

「のせて  
かみかみ」  
といき  
名前を  
出はせんで。

